

大分教育事務所訪問②-38 (計111) 大分市立横瀬小学校に学ぶ 学校経営から学ぶ

本校の素晴らしい点は、学校として育成を目指す資質・能力を設定する際、児童の実態を細かく分析したり、これからの時代に必要な力について協議したりすることで、「自己表現力」=受けて返す力をつけ、社会の変化に対応できる人間の育成を目指す。と定めたことで、目標が共有化されていることです。

そして、「自己表現力」を、教職員だけでなく子どもたちにも意識させるため、

話しやすい環境づくり→「いつでもだれにでもあいさつ」

授業ルールの徹底 →「話す人を見て、最後まで聞かせる」

言っていること書いていることへの理解 →「比べながら聞く、読む」「分かる授業」と、明確にしています。

また、学校経営ビジョンの取組指標も、だれが、何を、どのくらいの頻度で行うことを定め、各分掌の進捗状況を毎月分析を行うことで、子ども達にも成長を感じさせています。

これからも、子ども達にどのような力(資質・能力)をつけるのか、子ども達が何を学び、何ができるようになったかを中心に分析され、学級や学年、分掌における経営を推進されることを期待します。

授業から学ぶ

全学級の授業を参観させていただきありがとうございました。各授業の主眼も明確であり、どのような資質・能力を育成すべきかも明確

です。特に印象的だったのは2年2組算数における(管理ではない)授業規律の在り方や、4年1組国語のマッピング、高学年の学び合い等の在り方は範となるものです。資質・能力を意識した学校経営を行っているので、今後は、指導案の「振り返り」においては、教師が願う具体的なゴールの姿を「子どもを主語」にしてより具体的に表現してみたいかがでしようか(資質・能力の3本柱の視点で)。そして、互見授業等で教師が考えた「振り返り」と子どもが実際に書いたものとの違いを分析をしたり、「めあて」との連動、評価規準との整合性について協議したりすることで、授業改善がより推進されると思われました。



NO.505 2021年11月 大分市立横瀬小学校

つながる

共に学び合うことで、人と、言葉で、思いが
つながる。



NO.507 2021年11月 大分市立横瀬小学校

自ら学ぶ子

書くことは、自分の考えを整理するため、深く考えるため。そして、その後交流するため。



NO.508 2021年11月 大分市立横瀬小学校

机を見ると

安心、安全な空間だから、それぞれの思いが
つながる。



NO.506 2021年11月 大分市立横瀬小学校

優しくたくましい子

困った友達がいると優しく支える。お互いな納得するまで学び合う。中途半端はしない。